

## ボツワナ共和国月報(2019年9月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- モルピシ大統領府首席次官の一時職務停止処分
- 大統領候補者の発表
- ツェケディ・カーマ青少年地位向上・スポーツ文化開発大臣の与党BDP離脱

#### 【外政】

- マシシ大統領の世界経済フォーラムへの出席
- Brexit後の南部アフリカ諸国と英とのEPA合意
- 日本はアフリカでの民間投資に注力する

#### 【経済】

- ルカラ・ダイヤモンド社, 二つの希少ダイヤモンドを発見
- モハエ元大統領, チョッピーズ社の役員会議長を辞任
- ボツワナ銀行, 2019年の経済成長率の低下を予測

※当地メディア記事等を任意に引用した内容です。

#### 【内政】

##### ○ マカト通信運輸大臣等へのセキュリティ強化

情報保安局(DIS)はマカト通信運輸大臣に対するセキュリティを強化している。マホシDIS局長は同大臣へのセキュリティを強化していることを認めたものの、同大臣によるカーマ初代大統領を非難したとみられている発言とは関係ないと発言した。また、同局長は他の大臣や次官などのセキュリティも強化されていると述べた。(2日:モニター紙)

##### ○ モルピシ大統領府首席次官らの公判

3日, モルピシ大統領府首席次官及び同首席次官の妻は, 権力の乱用, 賄賂の受け取り, マネーロンダリング疑惑に関する裁判に出席した。同首席次官らは, (i)権力の乱用(2014年11月11日, ボツワナ公務員年金ファンド(BPOPF)の理事長をしていた際, 理事会の最終的な承認なしにキャピタル・マネジメント・ボツワナ(CMB)に同年金を運営する権限を与える署名をしたこと), (ii)公務員による賄賂の受け取り(上記の契約に関し, 見返りとして2017年5月11日に, トヨタ・ランドクルーザー・ピックアップを受け取ったこと), (iii)マネーロンダリング(630, 988ランド(462, 260プラ)のロンダリングへの関与)の3項目について罪に問われている。(2日:モニター紙, 4日:デイリー・ニュース紙)

##### ○ モルピシ大統領府首席次官の一時職務停止処分

マシシ大統領は, 2日付けで, 汚職関係で公判を受けているモルピシ大統領府首席次官を一時職

務停止とした。大統領府のプレスリリースによると、これを受け、マホシ大統領府副首席次官が大統領府首席次官代理に任命され、セラメ氏が大統領府副首席次官代理に指名された。(5日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ 2019年狩猟シーズンの宣言

環境・天然資源保護・観光省は、2019年狩猟シーズンを宣言した。同省によると、承認された狩猟の割り当ては野生動物・国立公園機関の全てにおいて掲載されており、関心のある国民は9月3日から16日までに最寄りの野生動物担当事務所で登録できる。狩猟の割り当ての抽選は9月20日に行われる予定である。(9日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ BMD除籍に関する緊急上告の棄却

9日、控訴裁判所はUDCからBMDが除籍されたことに対する高裁の判決を取り消すためのBMDによる緊急上告を緊急性はないとして棄却した。(10日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ ベンソン=モイトイ前地方自治開発大臣の与党イベント出席

ベンソン=モイトイ前地方自治開発大臣は、週末にモチュディ東部で行われたカフェラ・ムシ氏与党BDPの選挙キャンペーン開始イベントに出席し、与党を離脱するのではないかという憶測を終息させた。同前大臣は、マシシ大統領に対抗する党首立候補者として名乗りを挙げていたが、党首選挙の数時間前に立候補を取りやめていた。同前大臣は、これまで与党を離党するという事に関して何一つ発言したことはないため、自分が与党イベントに出席することは全くおかしいことではない旨発言した。ブタレBPF党首は、同前大臣がBPFに参加することを期待していない旨発言した。(16日:モニター紙)

#### ○ コシ前DIS局長、マレーシアでの滞在を延長

コシ前DIS局長の弁護士団によると、同前局長はマレーシアで回復しており、10月2日に医療チェックを受ける見込みであり、医療チェックの結果をみて、弁護士団にさらに休養が必要かもしくはボツワナに帰国するかを連絡する予定である。同前局長はDIS職員の身分を公開し、職務を妨害した罪に問われて逮捕されたが、毎月ブロードハースト警察に報告するという条件付で保釈された。しかしながら、5月28日に南アに渡り、ドバイ経由でマレーシアに渡航した。同前局長は背中の病気でマレーシアの専門医に紹介され、手術と休養が必要であると言われている。(20日:ガーディアン紙)

#### ○ マシシ大統領一団の一部車両の事故

8月31日、マシシ大統領をセレビ・ピクウェに輸送する一団の車両の内の一台がマサマで制御不能となり、横転した。車両は大きな損傷を受け、修理不可能な状態となった。マホシDIS局長は事故を認め、事故については調査中であるが、通常の事故ではないと発言した。また、同局長は大

統領の命は引き続き危険にさらされている旨述べた。(20日:メヒ紙)

### ○ 大統領候補者の発表

21日、ランノワネ最高裁長官は、ハボロネ高等裁判所において、ハオラテ革新連合党(AP)党首、マシシ・ボツワナ民主党(BDP)党首、ブタレ・ボツワナ国民戦線(BPF)党首、ボコ民主革命のためのアンブレラ(UDC)党首の4名を2019年総選挙における大統領候補者として宣言した。同最高裁長官は、四名の政党党首が大統領選挙への候補者として合法的に推薦されたことを確認した。また、四名の大統領候補者は、推薦者(proposer)及び賛成者(seconder)を含む、適切な資格を持ち、登録された1000名以上有権者の支持を得たと述べた。(23日:デイリー・ニュース紙)

### ○ ツェケディ・カーマ青少年地位向上・スポーツ文化開発大臣の与党BDP離脱

25日、ツェケディ・カーマ青少年地位向上・スポーツ文化開発大臣(カーマ前大統領の弟)は与党BDPを離脱した。また、26日、同大臣はカーマ前大統領がパトロンを務めるボツワナ愛国戦線(BPF)に参加した。同大臣は、BDP離脱及びBPF参加の理由として、カーマ前大統領がBDPを離脱した後、支持者たちから同大臣がBDPに残る限り、同大臣には投票しない旨の意見が相次いだこと、マカト運輸通信大臣による父である故カーマ元大統領への侮辱に対し、BDPが何もしなかったことを挙げている。(25日:メヒ紙(オンライン版)、26日:ボツワナ・ガーディアン紙他)

### ○ 閣僚人事

マシシ大統領は、カーマ青少年地位向上・スポーツ文化開発大臣の辞任を受けて、マカレメレ青少年地位向上・スポーツ文化開発副大臣を青少年地位向上・スポーツ文化開発大臣代理に指名した。(27日:デイリー・ニュース紙)

## 【外交】

### ○ ボツワナとモザンビークとの防衛協力合意への署名

ボツワナとモザンビークは新たな防衛協力合意に署名した。署名式に出席したカティ司法・国防大臣によると、同合意は共通のセキュリティー問題に対処するための相互訓練、情報交換、技術的な会合等の広い範囲の協力を促進するものである。また、ボツワナはモザンビークに対して防衛司令部職員大学、飛行訓練学校及び技術訓練学校における14の訓練科目を提供する由。(2日:デイリー・ニュース紙)

### ○ 南ア渡航者への注意喚起

外務国際協力省は南アへのボツワナ人渡航者に対して、同国で発生している暴動に注意するよ

う呼びかけるプレスリリースを発表した。また、南アに居住するボツワナ人に対しても暴動の発生している地域を避け、常に警戒するよう呼びかけた。(5日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ 経済革命のためにボツワナは日本のスタートアップ企業をターゲットにするべき

日本は最近終了したTICAD7で、アフリカとの関係において、援助を送ることではなく、日本の民間企業に後押しされた投資へ舵を取ると表明した。ボツワナが現在必要なのは巨額の資金の流入ではなく、日本のような国が持っている経済の移行のために必要不可欠な技術や能力を理解することである。これらはスタートアップ企業が持っており、ボツワナ開発公社(BDC)、国民起業開発庁(CEDA)及び国家開発銀行(NDB)などの準政府機関の予算内で手に入れることができ、ボツワナは経済を飛躍させることができるだろう。(7日:ウィークエンド・ポスト紙)

#### ○ マシシ大統領の世界経済フォーラムへの出席

マシシ大統領は4日から6日にかけて南ア・ケープタウンにて行われた第28回世界経済フォーラムに出席し、ケネウエンド投資・通商産業大臣及びオロベン高等教育・研究・科学技術大臣らも同フォーラムに出席した。(10日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ マシシ大統領のムガベ前ジンバブエ大統領逝去に対する弔問記帳

12日、マシシ大統領はジンバブエ高等弁務事務所においてムガベ前ジンバブエ大統領の逝去に関する弔問記帳を行った。同大統領は、ムガベ前大統領が解放のために戦った革命的な指導者であり、南部アフリカにおける抑圧の問題に関する発言は人々の記憶に残るであろう旨発言した。(13日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ UNDP, 多角貧困インデックスに関するボツワナ専門家に対して研修を実施

UNDPは、オックスフォード大学のオックスフォード貧困人間開発イニシアティブと協力して、多角貧困インデックスに関するキャパシティビルディングを目的として、7日から5日間の研修をボツワナで実施した。ボツワナ統計局の貧困撲滅調整ユニットの技術専門家や統計専門家が同研修に参加した。(13日:ガーディアン紙)

#### ○ Brexit後の南部アフリカ諸国と英とのEPA合意

ボツワナ及び南部アフリカの5つの国は、英のEU離脱にかかわらず、途切れることなく、英と貿易を続けることができる合意を決定した。ボツワナは、SACU+モザンビーク貿易圏の議長であり、同貿易圏は英がEUを離脱した時においても、2016年にEUと締結した経済連携協定(EPA)の有利な条件を確保するべく交渉している。ケネウエンド投資・通商産業大臣は合意への正式な署名は10月中旬にロンドンで開催されるコモンウェルス貿易大臣会合で行われる旨発言した。(13日:メヒ紙)

## ○ 日本はアフリカでの民間投資に注力する

日本はアフリカに対する政策を援助から民間投資に移行し、今後3年間でアフリカ大陸の開発のために200億米ドル(の民間投資)を約束した。日本の政策の変化は横浜市で開催されたTICAD7で表明され、8月28日から30日にかけて、ボツワナのダウ外務国際協力大臣及びケネウェンド投資・通商産業大臣を含む複数の国家首脳・大臣が対話を行った。米国、中国に次ぐ第3の経済大国である日本は、アフリカ政策を変えただけでなく、アフリカにおける開発経済において議論の中心であり大きな懸念事項となっている負債の問題について手助けすることを約束した。安倍総理によると、ナイロビで開催されたTICADVIからの3年間で最も大きな飛躍は、日アフリカ官民経済フォーラムを始めたことであり、TICADは生まれ変わるとの由。安倍総理は「我々の新しいTICADは、アントレプレナーシップとエンタープライズのダブルE、そのインベストメントとイノベーションのダブルIを高めへ押し上げる」と述べた。(14日:ウィークエンド・ポスト紙)

## ○ ダウ外務国際協力大臣の国連総会への出席

ダウ外務国際協力大臣はニューヨークで開催された第74回国連総会に出席した。(23日:モニター紙)

## 【経済】

### ○ ボツワナの主要経済指標

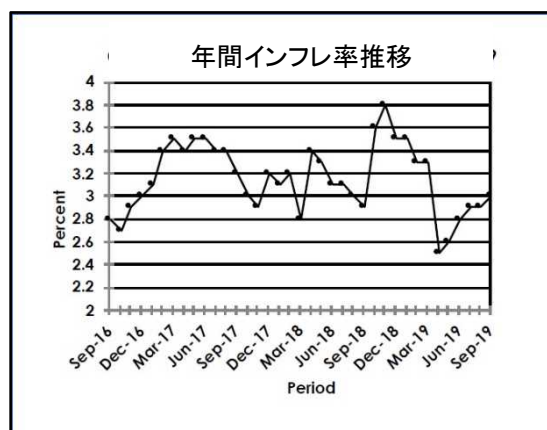
#### 1) 経済成長率(出典:ボツワナ統計局)

2019年第2四半期の GDP は492億4170万プラとなり、第1四半期(488億5020万プラ)と比べて1.4%増となった。(2018年GDP合計は1898億6850万プラ)



## 2) 年間インフレ率(出典:ボツワナ統計局)

2019年9月は3.0%(8月は2.9%)。



## 3) 為替レート(出典:First National Bank of Botswana)

2019年9月27日

1プラ=0.088米ドル

1プラ=1.320南ア・ランド

1プラ=9.57円

2019年8月30日

1プラ=0.087米ドル

1プラ=1.330南ア・ランド

1プラ=9.42円

[米ドル] 為替推移(1プラ=〇米ドル)



[円] 為替推移(1プラ=〇円)



## ○ ダイヤモンド産業

### 1) デビアス社の第7期ダイヤモンド原石売上の減少

デビアス社の発表によると、デビアス社の第7期ダイヤモンド原石販売会における売上は2億8000万米ドルとなり、前年同時期の売上5億300万米ドルより44%減少した。同社の本年のダイヤモンド原石売上は第6期で前年同時期比50%以上、第5期で前年同時期比33%減少した。(1日:サンデー・スタンダード紙)

### 2) ルカラ・ダイヤモンド社、二つの希少ダイヤモンドを発見

18日、ルカラ・ダイヤモンド社(カナダ)は、123カラットの質の高いダイヤモンドをカロウエ南鉱山で発見したことを発表した。また、同社は廃鉱からXRT技術(X線通過技術)を用いて375カラットのダイヤモンドを発見した。(22日:サンデー・スタンダード紙)

○ **モハエ元大統領, チョッピーズ社の役員会議長を辞任**

4日, モハエ元大統領は緊急総会を10月30日に延期するための決議について株主からの承認を得ることができず, また議長を続けるための決議が否決されたため, チョッピーズ社の役員会議長を辞任した。他の役員も株主からの51%以上の信任を得ることができず辞任した。同辞任によって, 以前の役員会で決定されていたオッタパトゥ前CEOに対する懲罰に関する聞き取りは自動的に消滅した。(6日:メヒ紙)

○ **ボツワナに2名の億万長者**

10日に発表されたAfriAsia銀行の「アフリカの財産報告書」によると, ボツワナでは2名が1億米ドル以上の資産を持っている。2名の人物を特定することはできないものの, 2名は所持する合計の資産が憶測を呼んでいる, よく知られた人物であると信じられている。同報告書によると, アフリカ大陸では260名の億万長者がおり, 南アには94名, エジプトには56名, ナイジェリアには27名, モロッコには20名, ザンビアとナミビアには3名ずつ, モザンビークには1名となっている。(13日:メヒ紙)

○ **ボツワナ銀行, 2019年の経済成長率の低下を予測**

ボツワナ銀行は, 2019年の経済成長率が財務・経済開発省が予測していた4.2%から3.9%に低下する見込みである旨発表した。同銀行によると, 2019年の経済成長率は, 米・中国間の貿易戦争, ダイヤモンド市場における不況等により, 当初の予想よりも低くなる見込みである。(15日:サンデー・スタンダード紙)